

校友会結成五〇周年記念

校友会会報

縮刷復刻版

追手門学院大学 校友会

ともどもに
同じ青春の
丘に駆けし者
また再び
この丘に降りて
集い合ひ
やわらぐ
気品ある園
駆けゆかん
輝

校友会会報(将軍山会報)			抜粋縮刷復刻版	内 容
発刊の辞(林田会長)			・	4
例言			・	6
山桜会報			16号	7
将軍山会報			1号から40号	11
校友会会報			41号から90号	175
Link A			0号から4号	667

会報縮刷版の発刊に際して

今回、会報の縮刷版を発刊することになりました。

追手門学院大学は一九六六年（昭和四十一年）に開学しましたが、追手門学院大学校友会は、二期生の卒業をうけて一九七一年（昭和四十六年）五月三〇日に設立されました。

会の俗称は、安威キャンパス近くに藤原鎌足の古廟と言われている古墳があることに因んで「將軍山会」と命名され、設立目的は母校の発展に寄与するとともに会員の親睦をはかると規定されました。以来四十九年が経過し、二〇二一年（令和三年）に設立五〇周年を迎えようとしています。

目的とともに規定された校友会の事業に会報の発行があります。

大学の歩みと校友会員の消息を知らせることを目的に発刊されてきました。

当初、小中高の同窓会、山桜会の大学部会の位置づけであったため一九七一年の山桜会報にその設立が掲載されています。

校友会会報の第1号は、四期生が卒業した一九七三年（昭和四十八年）の十一月一日に「將軍山会報」として発刊されました。会報の名称を現在の「校友会会報」と変えた41号以降、二〇一九年発刊の90号まで継続されています。また、活躍する校友会員をお知らせする情報誌「LinkA」0号から4号も縮刷版として掲載いたしました。

これまでの会報発行に携わっていただいた校友会役員はじめ関係者のみなさまの多大なご努力に敬意を表させていただきますとともに、心から感謝申し上げます。

大学校友会が設立五〇周年を迎えるにあたり、これまでの校友会の歩みを振り返るとともに一〇〇周年へむけた糧とすべくここに縮刷版を発刊いたします。

縮刷版発刊に際し、ご尽力いただきましたみなさまに心から御礼申し上げます。
ありがとうございました。

二〇二〇年二月吉日

追手門学院大学 校友会

会長 林田 隆行

例言

- この冊子は、令和三年（二〇二一年）に迎える校友会結成五〇周年を記念して実施する事業の一環として、これまでに発行した会報等を縮刷したものです。
- 収録しているのは、下記の発行物です。

山桜会報	16号（一九七一年）
将軍山会報	1号（一九七三年）から40号（一九九一年）
校友会会報	41号（一九九二年）から90号（二〇一九年）
Link A	0号（二〇一五年）から4号（二〇一九年）
- 中扉の碑文は、第13回太宰治賞、第78回芥川龍之介賞等を受賞された作家・宮本輝（一九七〇年卒）によるものです。この碑文は、初代学長天野利武先生の胸像にある顕彰碑に刻まれています。
- 見開きの関係で、綴じが右になっている号がありましたので、白紙になっているページがあります。
- A4版・B4タブロイド版の会報は縮小、B5版の会報は拡大し掲載しました。
- 会報に会員の住所変更や短信等が掲載されているものがありましたので、個人情報保護の観点から、この縮刷版には掲載しておりません。
- 山桜会報につきましては、本会の発足時のみの記事を掲載しました。
- MON（学院と山桜会・校友会の合同広報誌）については、校友会報の部分のみを掲載しました。
- 校友会活動の一環であるネットワーク作りに特化した広報誌「Link A」も掲載しました。

校友会結成五〇周年記念

校友会会報

(將軍山会報) 縮刷復刻版

発行日…令和二年(二〇二〇年)二月一日

発行者…追手門学院大学 校友会

事務局…〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1-3-120

(追手門学院 大阪城スクエア)

【大学所在地】

茨木安威キャンパス…大阪府茨木市西安威2-1-15

茨木総持寺キャンパス…大阪府茨木市太田東芝町1-1